

研究実施のお知らせ

2023年5月16日 ver.4.0

研究課題名

緑内障手術の眼圧下降効果と合併症の統計

研究の対象となる方

2006年10月から2036年3月の間に島根大学医学部附属病院で緑内障手術を受けられた方

2014年4月から2020年9月の間に松江赤十字病院眼科で緑内障手術を受けられた方

研究の目的・意義

緑内障では、視神経萎縮を抑制する目的で眼圧下降治療が行われます。緑内障には多彩な病型があり、また個々の患者さんで重症度や進行度が大きく異なります。また、緑内障の手術にも多彩な方法があります。このことから、個々の病態における個々の術式の効果や安全性を評価するための症例数を確保することは容易ではありません。

本研究課題では、緑内障手術について可能な限り長期間で多数の症例についてカルテを調査し集計することで、緑内障手術の効果と安全性について明らかにすることを目的とします。

本研究により、どの様な患者さんにどの様な治療を選択した方が良いかについて知ることができる可能性があります。

研究の方法

対象となる患者さんの電子カルテから、年齢、性、緑内障病名、既往歴、手術歴（緑内障術式を含む）、手術合併症、視力、眼圧、視野、前眼部所見、眼底所見、OCT所見、隅角所見、角膜内皮、前房フレア、過去及び術後の使用薬剤名を調査します。緑内障術式毎に、眼圧下降効果（眼圧、薬剤数、視力、視野、前眼部所見、眼底所見、OCT所見、隅角所見）と安全性指標（手術合併症、角膜内皮、前房フレア）を集計します。その他、必要に応じて統計解析を行います。

全てのデータは氏名とカルテ番号を削除した状態で扱います。収集したデータは、島根大学医学部眼科学講座内の外部から容易にアクセスできないPCに保管します。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限します。

松江赤十字病院からの情報の提供は、データを記載した電子媒体をe-mailの添付文書として送付、または、紙媒体を郵送・手渡しで行います。

研究に関するデータ及び関連資料（研究に関する手続き資料を含む）は、研究結果の最終公表を行ってから10年間は保管し、その後消去します。

研究の期間

2020年6月19日～2037年3月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部眼科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する・情報の管理責任者）：

島根大学医学部眼科学講座 谷戸正樹

情報提供機関：

松江赤十字病院眼科部 松岡陽太郎

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2020年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座 谷戸正樹（たにとまさき）

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278